

資源循環型社会を学ぶAPUの学生が 国東市を現場研修

持続可能社会の実現を研究しているアマタグループとAPU（立命館アジア太平洋大学）の合同講座「地域に根差した資源循環プロジェクト」に参加した学生が、9月13日・14日の2日間、国東市で現場研修を行いました。学生たちは、「国東市バイオマス産業都市構想」の説明を受けた後、世界農業遺産に認定された「クヌギ林とため池がつなぐ循環型農林水産業の仕組み」を、シイタケ農家やくにさき七島蘭振興会の方から学びました。そして、現場研修後の意



見交換会で、「国東市の産業を考えるとバイオマス発電では、メタンガスなどのガス化による発電が適しているのではないか」、「ガスの発生時にできる液肥と使用後のほだ木を混ぜると土壌改良剤ができるのでは」などの意見が出ました。国東市では、バイオマス産業の実現に向けて、学生から提案された意見についても検討していきます。

国東高校の生徒が七島蘭を収穫

9月1日、国東高校園芸ビジネス科のバイオ類型を専攻する3年生8名が背丈ほど伸びた七島蘭の収穫をしました。生徒達は、収穫した七島蘭で、しめ縄づくりをする予定です。



オリーブの苗木を植えますか？

申込締切 平成29年11月30日(木)厳守

～オリーブの苗木代の3/4の金額を補助します～

補助対象条件

- ①市内に住所を有する者（法人の場合は、市内に事業所等があること）。②市内に植栽をすること。
- ③オリーブを身近に感じてもらえることを目的とし、苗木本数は最低5本以上とする。

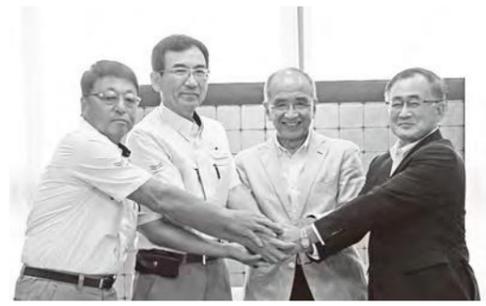
※補助対象となる苗木は2年生で1本1,600円ほどです（注文時に多少の価格変動があるのでご了承ください）。（例）5本で8,000円の場合／補助額（3/4）：6,000円／負担額（1/4）：2,000円
※苗木の配布はJAおおいた東部事業部にて平成29年2月頃を予定しています。植え付けは3月上旬までをお願いします。 ※なお、注文のキャンセルはできませんので、気をつけてください。

申 農政課園芸畜産係 及び 各総合支所地域産業建設課（申込書は各申込先とJA各配送センターに準備しています。）
問 農政課園芸畜産係 ☎0978-72-5167 JAおおいた東部事業部 ☎0978-72-0617

ヤンマー造船が工場増設

武蔵町系原で舟艇製造・修理をしている「ヤンマー造船株式会社」が、プレジャーボートを中心に製品が大型化していることや他メーカーからの受託生産を始めたことから、工場を増設することを発表しました。

8月24日、ヤンマー造船の市川泰弘社長が県庁を訪れ、広瀬勝貞知事と三河明史市長に報告しました。

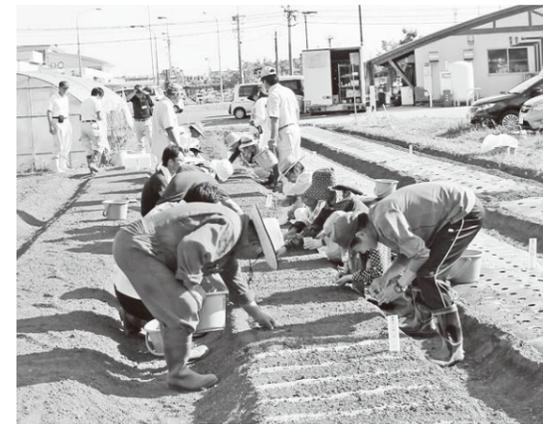


ヤンマー造船によると、現在1750平方メートルの舟艇組立場を約3000平方メートルに拡張。来年4月から操業開始し、従業員も地元を中心に新たに10名ほどを雇用する予定です。

三河市長は、「昭和53年3月に開設して以来、地域振興に貢献していただいております。地方創生に必要な雇用の場を増してもらい感謝しています。順調に進んでいくように協力していきます」と述べました。

くにさき野菜学校が開校

9月1日、国東市役所武蔵総合支所で、初めての試みとなる「くにさき野菜学校」の開校式が行われました。開校式には、野菜づくりに興味のある20名の方が集まりました。受講生は、営農指導員などから野菜づくりに必要な知識を座学と農場での実践で学んでいきます。



式の中で、三河市長は「みなさんが野菜づくりのプロになり、いずれは最寄りの直売所へ出荷する生産者になることを期待しています」と述べました。開校式終了後、受講生は里の駅むさしの圃場で、野菜の種まきを学びました。

くにさき野菜学校は、来年の2月までの計7回の授業を計画しており、収穫までの一連の作業を学ぶことができます。